

「銀聯」カード取り扱い開始

マツモトキヨシは三井住友カードと提携し、中国からの観光客向け決済サービス「銀聯（ぎんれん）」の取り扱いを始めた。東京や京都など中国人観光客の来店が見込める四十五店に、

マツモトキヨシ

三月末までに順次導入する。土産用に日本製の化粧品を買う中国人が増えており、高額決済が可能な「銀聯」を導入して同社でのまとめ買いを促す。

小売業では百貨店や家電量販店などで「銀聯」の導

中国人客のまとめ買い期待

入が進んでいるが、日用品中心のドラッグストアでは珍しい。マツキヨは東京・銀座や大阪・心斎橋など繁華街にも店を構えており、「中国の観光ガイドで紹介され、ブランド認知度が高まっている」（同社）という。首都圏では新宿東口店（東京・新宿）や浅草店（同・台東）など二十三店に導入。札幌市や金沢市の店でも扱う。

銀聯は中国の銀行が発行するキャッシュカードによる決済サービスで、カード総発行枚数は約十三億枚。